

特別講演 17:40~18:40

座長:広島大学大学院消化器・代謝内科学 茶山 一彰

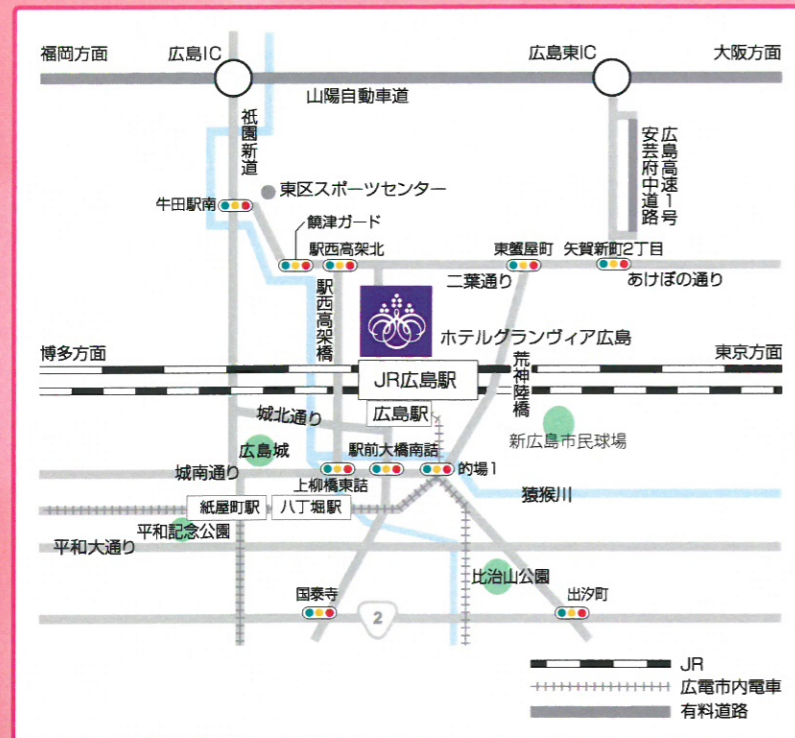
「細胞死と常在細菌による炎症・免疫応答と疾患」

東京大学生産技術研究所 特任教授
マックスプランク東京大学統合炎症学センター 所長
谷口 維紹 先生

おわりに

広島大学大学院消化器・移植外科学 大段 秀樹

本シンポジウムは、厚生労働科学研究費による補助を得ています
研究会終了後、意見交換会を予定しております



共催 / 広島肝臓プロジェクト研究センター・田辺三菱製薬株式会社

第12回 広島肝臓プロジェクト研究センター シンポジウムのご案内

日時 平成28年6月25日(土)
12:30 ~ 18:40

場所 ホテルグランヴィア広島
3階 天平の間

会費 500円

プログラム

開会のあいさつ 広島肝臓プロジェクト研究センター長 茶山 一彰

一般演題

12:35～ セッションI ウイルス1 座長:広島大学大学院消化器・代謝内科学 茶山 一彰 広島大学大学院疫学・疾病制御学 田中 純子

1. ヒト肝細胞キメラマウスを用いたB型肝炎ウイルス遺伝子型による感染肝細胞内遺伝子発現変化の検討

柘植 雅貴^{1,2}、内田 宅郎^{1,2}、菅 宏美^{1,2}、阿部 弘美^{1,2}、三木 大樹^{1,2}、河岡 友和^{1,2}、平賀 伸彦^{1,2}、今村 道雄^{1,2}、相方 浩^{1,2}、越智 秀典^{1,2}、茶山 一彰^{1,2}
広島大学大学院消化器・代謝内科学¹、広島肝臓プロジェクト研究センター²

2.HCVに対する抗ウイルス治療後、SVR後の肝細胞の超微細構造の変化

相崎 英樹¹、青柳 東代¹、飯島 尋子²、松田 麻未¹、渡士 幸一¹、鈴木 亮介¹、政木 隆博^{1,3}、三又 絢子⁵、酒巻 有里子⁵、市野瀬 志津子⁵、坪田 昭人⁴、和氣 健二郎⁶、脇田 隆字¹
感染研・ウイルス第2部¹、兵庫医大・超音波センター²、慈恵医大・臨床検査³、同・基盤研究施設⁵、医科歯科大・研究支援センター⁴、ミノファーマゲン製薬⁶

3.カンボジアとベトナムにおけるHCV、HBV full genome sequence解析による疫学的考察

山本 周子^{1,3}、永島 慎太郎^{1,3}、Channarena Chuon^{1,3}、Somana Svay⁴、Sirany Hok⁴、山田 裕子^{1,3}、藤本 真弓^{1,3}、片山 恵子^{1,3}、高橋 和明^{1,3,5}、田中 純子^{1,2,3}
広島大学大学院医歯薬保健学研究院 疫学・疾病制御学¹、広島肝臓プロジェクト研究センター²、広島大学肝炎肝癌対策プロジェクト³、カンボジア王国保健省⁴、東芝病院 研究部⁵

4.新規ウイルス感染実験動物*Tupaia belangeri*の開発

小原 恭子^{1,2}、真田 崇裕³、小原 道法³
鹿児島大学共同獣医学部越境性動物疾病制御研究センター¹、鹿児島大学共同獣医学部動物衛生学分野²、東京都医学総合研究所 感染制御プロジェクト³

13:23～ セッションII ウイルス2 座長:広島大学大学院ウイルス学 坂口 剛正 広島大学大学院消化器・代謝内科学 柘植 雅貴

5.HBV感染がキメラマウス肝臓中のヒト肝細胞のPloidyに与える影響

石田 雄二^{1,2}、吉実 康美¹、山崎 ちひろ¹、柳 愛美¹、小川 裕子¹、茶山 一彰^{2,3}、立野 知世^{1,2}
株式会社フェニックスバイオ¹、広島大学肝臓プロジェクト研究センター²、広島大学大学院消化器・代謝内科学³

6.HBV遺伝子複製に対してI型インターフェロン誘導遺伝子ISG20の及ぼす影響

舟見 健児¹、Leong Chean Ring¹、Mengyao Deng¹、押海 裕之^{1,2}、松本 美佐子¹、瀬谷 司¹
北海道大学大学院医学研究科 免疫学分野¹、熊本大学大学院生命科学研究部 免疫学分野²

7.免疫抑制治療とHBV再活性化ウイルスゲノムの特徴

犬塚 義、上田 佳秀、丸澤 宏之
京都大学大学院医学研究科 消化器内科

8.Precore stop codon regulates the stability of HBV X-mRNA

Hussein H Aly¹、Junya Suzuki¹、Koichi Watashi¹、Kazuaki Chayama²、Takaji Wakita¹
National Institute of Infectious Diseases, Tokyo¹
Department of Gastroenterology and Metabolism, Institute of Biomedical and Health Sciences, Hiroshima University²

14:11～ セッションIII NAFLD 座長:鳥取大学大学院遺伝子医療学部門 汐田 剛史 JA広島総合病院消化器内科 兵庫 秀幸

9.Extracellular vesiclesは非アルコール性脂肪性肝炎やアルコール性肝炎の病態進行に寄与する

江口 暁子^{1,2}、Davide Povero²、塚本 秀和³、竹井 謙之¹、Ariel Feldstein²
三重大学大学院医学研究科 消化器内科学¹、University of California San Diego, Pediatrics²
Southern California Research Center for ALPD and Cirrhosis and Departments of Pathology, Keck School of Medicine of the University of Southern California³

10.非アルコール性脂肪性肝疾患におけるオートファジー抑制機構とBallooned hepatocyte形成についての基礎的検討

柿坂 啓介、鈴木 彰子、滝川 康裕
岩手医科大学消化器内科肝臓分野

11.メダカ脂肪肝モデルにおけるカルニチン投与による脂肪肝改善効果および代謝変化の検討

藤澤 浩一^{1,2}、高見 太郎²、坂井田 功^{1,2}
山口大学大学院 医学系研究科 再生医療教育研究センター¹、山口大学大学院 医学系研究科 消化器内科学²

12.ヒトNASHに類似した病理組織像を呈する新規モデル動物の開発とその問題点

大和田 洋平¹、田村 孝史¹、田野井 智倫¹、久倉 勝治¹、松坂 賢²、島野 仁²、大河内 信弘¹
筑波大学消化器外科・臓器移植外科¹、筑波大学内分泌代謝・糖尿病内科²

14:59～15:13 Coffee Break

15:13～ セッションIV 炎症・線維化 座長:高陽ニュータウン病院 高橋 祥一 広島大学大学院消化器・代謝内科学 今村 道雄

13.胆管細胞でのanion exchanger 2 (AE2)発現低下は酸化ストレス・細胞老化を誘導しPBC胆管炎を模倣する

下田 慎治¹、原田 憲一²
九州大学病態修復内科学¹、金沢大学形態機能病理学²

14.all-transレチノイン酸はTXNIPの発現制御により、酸化ストレスの減少を介して肝星細胞活性化を抑制する

坪田 智明、清水 寛基、汐田 剛史
鳥取大学大学院医学系研究科遺伝子医療学部門

15.選択的Wnt/ β -catenin/CBPシグナル阻害剤による肝線維症改善機序

小原 道法¹、徳永 優子¹、大澤 陽介²、木村 公則²
東京都医学総合研究所 感染制御プロジェクト¹、東京都立駒込病院 肝臓内科²

15:49～ セッションV 細胞増殖 座長:株式会社フェニックスバイオ 立野 知世 国立病院機構呉医療センター外科 田代 裕尊

16.ヒト初代肝細胞からの肝幹細胞様細胞の樹立

李 宗南^{1,2}、阿部 雄一^{2,3,4}、赤堀 祐一^{2,3}、フセイン・アリ^{2,5}、丸澤 宏之¹、土方 誠^{2,3}
京都大学大学院 医学研究科 消化器内科学講座¹、京都大学ウイルス研究所ヒトがんウイルス研究分野²、京都大学大学院 生命科学研究科 生体動態制御学分野³
国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所⁴、国立感染症研究所 ウイルス第二部⁵

17.同所性肝細胞シート移植による肝臓創生

小森 淳二^{1,2}、大橋 一夫^{3,4}、辰巳 公平^{4,5}、岡野 光夫⁴、Eric Lagasse²
高松赤十字病院 消化器外科¹、McGowan Institute for Regenerative Medicine, University of Pittsburgh²
大阪大学 薬学研究科³、東京女子医科大学 先端生命医学研究所⁴、近畿大学医学部再生機能医学講座⁵

18.Zone1・Zone3特異的肝細胞移植法を駆使した肝実質内細胞streamの探求

大橋 一夫¹、山下 信吾²、鶴頭 理恵³、土谷 博之¹、山本 雅一²
大阪大学 薬学研究科 iPS細胞動態プロジェクト¹、東京女子医大 消化器外科²、千葉大学 工学研究科³

19.基質への肝臓細胞接着の初期過程:温度非依存的及び血清阻害的接着現象について

吉里 勝利^{1,2}、斎藤 夏実³、松原 三佐子¹
大阪市立大学医学研究科合成生物学寄付講座¹、株式会社フェニックスバイオ²、肝臓内科学講座(現、株式会社レジェンス)³

16:37～ セッションVI 癌・免疫 座長:広島大学大学院消化器・移植外科学 大段 秀樹 大阪市立大学特任教授/フェニックスバイオ学術顧問 吉里 勝利

20.肝臓切除後におけるNK細胞機能の脆弱化のメカニズム

矢野 琢也^{1,2}、大平 真裕^{1,2}、中野 亮介^{1,2}、大段 秀樹^{1,2}
広島大学大学院消化器・移植外科学¹、広島肝臓プロジェクト研究センター²

21.肝細胞癌標的治療薬としてのDPP-4阻害剤の分子生物学的解析

仁科 憲治¹、山内 明²、佐々木 恭¹、小山 展子¹、富山 恭行¹、吉岡 奈穂子¹、原 裕一¹、日野 啓輔¹
川崎医科大学 肝胆内科¹、川崎医科大学 生化学²

22.レチノイドによる新規転写制御メカニズムを介した肝癌細胞浸潤抑制作用

土谷 博之、大浦 聖矢、大橋 一夫
大阪大学大学院薬学研究科

23.スルファサラジンによる肝癌治療の可能性

和田 史孝^{1,2}、古賀 浩徳^{1,2}、秋葉 純³、池園 友^{1,2}、中村 徹^{1,2}、岩本 英希^{1,2}、阪上 尊彦^{1,2}、増田 篤高^{1,2}、田中 俊光^{1,2}、安倍 満彦^{1,2}、矢野 博久³、鳥村 拓司^{1,2}
久留米大学医学部内科学講座消化器内科学部門¹、久留米大学先端癌治療研究センター肝臓部門²、久留米大学医学部病理学講座³

17:25～17:40 Coffee Break